

令和6年5月7日14時00分
兵庫県立淡路景観園芸学校
近畿地方整備局
国営明石海峡公園事務所

兵庫県立淡路景観園芸学校と包括連携協定を締結

兵庫県立淡路景観園芸学校・兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科(学長兼校長:柴田 昌三)と国営明石海峡公園事務所(所長:三井 雄一郎)は、相互の人的・知的資源の交流・活用を推進し、双方が有する情報を発信していくため、2024年5月7日(火)に包括連携協定を締結します。

本協定の締結により、淡路景観園芸学校の研究の推進、人材の育成、国営明石海峡公園の利用者へのサービス向上等を一層推進します。

●包括連携協定の内容

- ・公園における景観園芸学校によるセミナーの実施
 - ・公園における研究活動の推進 など
- ※具体的な取り組みイメージについては別紙の通り

●経緯

令和6年2月に行った「国営明石海峡公園基本計画」の変更(<https://www.kkr.mlit.go.jp/a/kashi/keikakugaiyo.html>)において、多様な主体との連携による里地里山の景観の継承を位置づけたことも踏まえ、当該協定の締結に至ったものです。

<取扱い>

<配布場所> 兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ、神戸民放記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局
国営明石海峡公園事務所
調査設計課長 田尻 尚登 (たじり ひさと)
総務課長 赤松 知行 (あかまつ ともゆき)
電話番号:078-392-2992(代)

具体的な取り組みイメージ

○淡路景観園芸学校の専門家が、公園の魅力向上に向けアドバイス

新たなイベントプログラム・フォトスポットの提案、ユニバーサルデザインなどについてアドバイス



専門的な知識を取り入れた学びや遊びを提供するためのプログラムにアドバイス



○両地区において、淡路景観園芸学校の演習を実施

淡路地区公園ボランティアの「海峡フレンズ」とともに、学生が活動を行うなどして、公園利用の充実について検討・提案予定

神戸地区の現地踏査を行い、市民活動の活性化や里山資源の利用、整備のあり方について提案を予定



学生の実習風景や成果発表イメージ

園内案内をする海峡フレンズ

園内の整備・管理の状況を説明（過年度実績）